



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03 - 5908 - 0161

定時株主総会開催予定日 2021年6月22日

配当支払開始予定日

2021年6月23日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	51,805	11.8	4,457	18.6	4,550	8.8	2,344	26.8
2020年3月期	58,722	4.1	5,474	14.6	4,991	13.2	3,204	21.2

(注) 包括利益 2021年3月期 3,556百万円 (59.4%) 2020年3月期 2,231百万円 (42.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	114.29	114.16	8.3	7.1	8.6
2020年3月期	156.64	156.26	12.2	8.0	9.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 28百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	65,067	30,567	45.4	1,439.48
2020年3月期	62,804	27,927	42.8	1,314.13

(参考) 自己資本 2021年3月期 29,537百万円 2020年3月期 26,902百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	6,662	2,300	82	13,725
2020年3月期	5,374	2,826	1,671	9,297

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		24.00		24.00	48.00	982	30.6	3.7
2021年3月期		12.00		18.00	30.00	615	26.2	2.2
2022年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00		28.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	13.4	1,600	28.3	1,500	23.6	1,000	499.2	48.73
通期	55,000	6.2	5,000	12.2	4,800	5.5	3,200	36.5	155.95

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	21,048,200 株	2020年3月期	27,048,200 株
期末自己株式数	2021年3月期	528,427 株	2020年3月期	6,576,603 株
期中平均株式数	2021年3月期	20,509,115 株	2020年3月期	20,455,444 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	21,534	19.4	2,157	28.8	3,172	10.8	2,460	5.2
2020年3月期	26,704	10.4	3,029	21.2	3,555	19.7	2,594	4.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	119.97	119.83
2020年3月期	126.85	126.54

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	47,680	20,361	42.6	989.18
2020年3月期	45,512	18,561	40.6	903.46

(参考) 自己資本 2021年3月期 20,297百万円 2020年3月期 18,495百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2021年5月18日(火)にライブ配信での機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する決算説明会資料は、本決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の一時的な停滞を受けて、期初から、難しい舵取りを強いられました。当社グループは、顧客サービス維持を念頭に、サプライチェーンの確保に注力し、安定的な生産活動を継続いたしました。従業員の安全・健康を最優先し、リモート環境での業務を推進、その結果、業務の見直しと効率化を図ることができました。加えて、全社的な支出の抑制により利益確保に努めました。

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、第1四半期に大幅な需要の減少が見られましたが、第2四半期以降は緩やかながら回復に転じました。以降、感染再拡大が懸念されたものの、第4四半期には、概ね前年同期の水準まで需要が回復いたしました。その結果、売上高は51,805百万円（前期比11.8%減）、営業利益は4,457百万円（前期比18.6%減）、経常利益は4,550百万円（前期比8.8%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、オランダ子会社の減損損失とオーストラリア子会社のリストラ費用、522百万円を特別損失に計上したことにより2,344百万円（前期比26.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業損益(前期比)
日本	21,534百万円 (19.4%減)	4,313百万円 (21.5%減)
米州	24,013百万円 (14.8%減)	1,157百万円 (25.4%減)
中国	7,104百万円 (5.3%減)	1,043百万円 (6.5%増)
アジア	2,934百万円 (8.7%減)	207百万円 (13.7%増)
欧州	4,462百万円 (2.5%減)	△368百万円 (前期は303百万円の営業損失)
その他	1,504百万円 (2.8%増)	△35百万円 (前期は48百万円の営業損失)

(日本)

国内市場においては、第2四半期以降、需要環境は、緩やかながらも着実に回復へと向い、第4四半期においては前年同期並みへと回復いたしました。輸出については海外市場の需要減少を受け、子会社向けの出荷が減少したことから、売上高は21,534百万円（前期比19.4%減）、営業利益は4,313百万円（前期比21.5%減）となりました。

(米州)

米国においては、第2四半期以降、ゆるやかな回復が継続しました。新政権の経済政策への期待感などによる投資先送りや、期の終盤には西海岸における港湾機能の混乱の影響を受けたものの、第4四半期の売上高は前年同期並みへと回復いたしました。結果、売上高は24,013百万円（前期比14.8%減）、営業利益は1,157百万円（前期比25.4%減）となりました。

(中国)

中国は、足元ではコロナ禍の影響をいち早く脱し、業績は急速に回復いたしました。売上高は7,104百万円（前期比5.3%減）、営業利益は1,043百万円（前期比6.5%増）となりました。なお、同セグメントは12月決算のため、当年度累計期間は1～12月の結果となっております。

(アジア)

コロナ禍の影響により、東南アジア地域の自動車関連産業などの設備投資の低迷が続く一方、前年度に大きく落ち込んだ韓国の液晶関連の売上が回復しました。その結果、売上高は2,934百万円（前期比8.7%減）、営業利益は207百万円（前期比13.7%増）となりました。

(欧州)

欧州各地において経済活動が停滞する中、当社グループにおいては、数年来のM&Aを通じて獲得した各子会社のシナジーが表れ、欧州市場でのブランド浸透と他社との差別化が着実に進みました。

なお、当セグメントにおいて当連結会計年度末に、特殊環境用途など顧客仕様にホイストをカスタマイズするオランダの子会社を連結しております。その結果、売上高は4,462百万円（前期比2.5%減）となりました。利益面では368百万円の営業損失（前期は303百万円の営業損失）となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されておりますが、経済活動の早期回復により、売上高は1,504百万円（前期比2.8%増）、営業損失は35百万円（前期は48百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

資産合計は65,067百万円と前連結会計年度末に対し2,263百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の増加4,266百万円、投資有価証券の減少713百万円、商品及び製品の減少695百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は34,500百万円と前連結会計年度末に対し377百万円減少いたしました。これは、短期借入金の増加4,702百万円、長期借入金の減少2,914百万円、未払費用の減少747百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は30,567百万円と前連結会計年度末に対し2,640百万円増加いたしました。これは、自己株式の減少5,222百万円、利益剰余金の減少3,524百万円、為替換算調整勘定の増加587百万円等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は13,725百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,427百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは6,662百万円と前期比1,288百万円収入増となりました。これは、税金等調整前当期純利益が3,682百万円、減価償却費が2,697百万円、たな卸資産の減少額が1,225百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,300百万円と前期比526百万円支出減となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が2,210百万円、無形固定資産の取得による支出が294百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△82百万円と前期比1,588百万円支出減となりました。これは、短期借入れによる収入が6,000百万円、長期借入金の返済による支出が4,385百万円、短期借入金の純減額が1,412百万円となったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

2021年3月期を最終年度とした5カ年の中期経営計画は、利益規模の拡大を目指し、高収益体質への回帰、製品ポートフォリオの拡充、グローバル組織への転換を推進してまいりましたが、外部要因の影響はあったとはいえ、結果として利益規模の拡大は実現できませんでした。一方でこれを実現すべく実施した施策、高収益体質への転換、製品ポートフォリオ拡充、グローバル組織への進化については一定の成果を上げることが出来ました。今後、コロナ禍から経済活動回復の勢いを得て、成長路線を追求してまいります。

足元の外部環境は依然としてコロナ禍の影響は大きく、先行き不透明な状況が続くことから、新中期経営計画の公表は、1年見送ることといたします。

新中期経営計画では、社会のニーズに応えるべく、当社の存在意義、社会貢献のあり方について再定義し、引き続き、成長を目指してまいります。

2022年3月期においては、コロナ禍の収束に向けた経済活動の回復と、各国の政策によるインフラ整備需要の拡大を着実に捉え、コロナ禍以前の水準へと業績回復を目指します。このような状況のもと、2022年3月期の見通しは、売上高55,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益4,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,200百万円を見込んでおります。なお、見通しの前提となる為替レートは、1米ドル105円で計画しております。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の拡大、収束状況等、様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(第7章及び第8章を除く)」(1976年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,468	13,734
受取手形及び売掛金	11,088	11,369
商品及び製品	13,601	12,905
仕掛品	1,193	1,254
原材料及び貯蔵品	3,302	3,181
その他	1,465	1,367
貸倒引当金	△73	△78
流動資産合計	40,046	43,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,132	11,678
減価償却累計額	△6,670	△7,082
建物及び構築物(純額)	4,461	4,595
機械装置及び運搬具	19,393	20,341
減価償却累計額	△15,147	△16,136
機械装置及び運搬具(純額)	4,246	4,205
土地	1,470	1,469
建設仮勘定	1,205	983
その他	7,716	8,187
減価償却累計額	△6,347	△6,812
その他(純額)	1,368	1,374
有形固定資産合計	12,752	12,628
無形固定資産		
のれん	1,316	1,195
ソフトウェア	836	784
その他	3,166	3,023
無形固定資産合計	5,319	5,003
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	1,287
繰延税金資産	1,803	1,465
退職給付に係る資産	—	73
その他	881	874
投資その他の資産合計	4,686	3,701
固定資産合計	22,757	21,332
資産合計	62,804	65,067

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,668	5,028
短期借入金	3,252	7,955
1年内返済予定の長期借入金	4,271	4,028
未払費用	3,349	2,601
未払法人税等	377	271
賞与引当金	769	844
製品保証引当金	107	91
返品調整引当金	373	401
事業構造改善引当金	—	85
その他	2,093	1,702
流動負債合計	20,263	23,011
固定負債		
長期借入金	10,808	7,894
退職給付に係る負債	2,336	2,184
繰延税金負債	722	638
その他	746	771
固定負債合計	14,613	11,488
負債合計	34,877	34,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,234	5,056
利益剰余金	24,086	20,561
自己株式	△5,678	△455
株主資本合計	27,618	29,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△91	△69
為替換算調整勘定	△64	523
退職給付に係る調整累計額	△559	△54
その他の包括利益累計額合計	△716	399
新株予約権	66	63
非支配株主持分	958	966
純資産合計	27,927	30,567
負債純資産合計	62,804	65,067

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	58,722	51,805
売上原価	36,742	33,081
売上総利益	21,979	18,724
販売費及び一般管理費		
販売費	12,437	10,761
一般管理費	4,068	3,505
販売費及び一般管理費合計	16,505	14,266
営業利益	5,474	4,457
営業外収益		
受取利息	39	36
為替差益	—	58
受取賃貸料	31	72
保険解約返戻金	97	—
助成金収入	12	163
作業くず売却益	35	36
その他	74	109
営業外収益合計	291	475
営業外費用		
支払利息	340	233
アレンジメントフィー	65	55
持分法による投資損失	28	—
為替差損	222	—
その他	115	94
営業外費用合計	773	383
経常利益	4,991	4,550
特別利益		
段階取得に係る差益	138	—
固定資産売却益	8	5
特別利益合計	146	5
特別損失		
固定資産売却損	1	3
減損損失	164	334
固定資産除却損	85	41
事業構造改善費用	—	188
退職給付制度終了損	—	305
特別損失合計	251	873
税金等調整前当期純利益	4,885	3,682
法人税、住民税及び事業税	1,485	1,159
法人税等調整額	89	72
法人税等合計	1,575	1,232
当期純利益	3,310	2,450
非支配株主に帰属する当期純利益	105	106
親会社株主に帰属する当期純利益	3,204	2,344

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,310	2,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△144	22
為替換算調整勘定	△615	577
退職給付に係る調整額	△318	506
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△1,078	1,106
包括利益	2,231	3,556
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,125	3,459
非支配株主に係る包括利益	106	97

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,976	5,214	21,863	△5,725	25,328
当期変動額					
剰余金の配当			△981		△981
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,204		3,204
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		19		47	67
自己株式の消却					—
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	19	2,222	47	2,290
当期末残高	3,976	5,234	24,086	△5,678	27,618

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	0	52	552	△242	362	50	945	26,687
当期変動額								
剰余金の配当								△981
親会社株主に帰属する 当期純利益								3,204
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								67
自己株式の消却								—
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動								—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△0	△144	△616	△317	△1,078	15	12	△1,050
当期変動額合計	△0	△144	△616	△317	△1,078	15	12	1,240
当期末残高	0	△91	△64	△559	△716	66	958	27,927

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,976	5,234	24,086	△5,678	27,618
当期変動額					
剰余金の配当			△737		△737
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,344		2,344
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		12		44	57
自己株式の消却		△46	△5,131	5,178	—
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△143			△143
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△177	△3,524	5,222	1,520
当期末残高	3,976	5,056	20,561	△455	29,138

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	0	△91	△64	△559	△716	66	958	27,927
当期変動額								
剰余金の配当								△737
親会社株主に帰属する 当期純利益								2,344
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								57
自己株式の消却								—
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動								△143
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	22	587	505	1,115	△3	8	1,120
当期変動額合計	0	22	587	505	1,115	△3	8	2,640
当期末残高	0	△69	523	△54	399	63	966	30,567

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,885	3,682
減価償却費	2,711	2,697
減損損失	164	334
のれん償却額	323	347
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63	56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△221	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20	437
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	76
受取利息及び受取配当金	△39	△36
支払利息	340	233
持分法による投資損益(△は益)	28	—
固定資産除却損	85	41
固定資産売却損益(△は益)	△6	△1
助成金収入	△12	△163
事業構造改善費用	—	111
売上債権の増減額(△は増加)	1,343	147
たな卸資産の増減額(△は増加)	△499	1,225
未収入金の増減額(△は増加)	△18	△385
前払費用の増減額(△は増加)	99	20
仕入債務の増減額(△は減少)	△760	△735
未払費用の増減額(△は減少)	△146	△760
前受金の増減額(△は減少)	△44	57
その他	△161	626
小計	8,039	8,017
利息及び配当金の受取額	39	32
利息の支払額	△356	△252
法人税等の支払額	△2,360	△1,228
助成金の受取額	12	159
事業構造改善費用の支払額	—	△66
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,374	6,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,416	△2,210
有形固定資産の売却による収入	11	34
無形固定資産の取得による支出	△272	△294
関係会社株式の取得による支出	△1,287	—
保険積立金の解約による収入	233	—
差入保証金の回収による収入	111	35
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△66	—
その他	△139	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,826	△2,300

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	6,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	497	△1,412
長期借入れによる収入	3,500	1,100
長期借入金の返済による支出	△4,289	△4,385
配当金の支払額	△979	△737
非支配株主への配当金の支払額	△93	△97
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△185
リース債務の返済による支出	△296	△344
その他	△10	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,671	△82
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86	147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	789	4,427
現金及び現金同等物の期首残高	8,504	9,297
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,297	13,725

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症により今後も事業活動に影響があるものと見込んでおります。このような状況は、翌連結会計年度に一定程度収束すると仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があるため、上記仮定に変化が生じた場合には、翌連結会計年度の財務状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、ホイスト・クレーン等の製造・販売をしており、国内においては当社が、海外においては米州、中国、アジア及び欧州等の各地域を現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、各連結会社を集約し、日本、米州、中国、アジア、欧州及びその他の6つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	15,331	28,099	6,837	3,214	3,775	1,464	58,722	—	58,722
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,373	72	666	—	802	—	12,914	△12,914	—
計	26,704	28,171	7,503	3,214	4,578	1,464	71,637	△12,914	58,722
セグメント利益又は損失 (△)	5,495	1,551	979	182	△303	△48	7,857	△2,383	5,474
セグメント資産	25,591	22,559	6,873	4,248	4,484	1,087	64,845	△2,041	62,804
その他の項目									
減価償却費	949	1,003	215	194	260	77	2,700	11	2,711
のれんの償却額	11	290	—	—	20	—	323	—	323
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,371	425	185	59	286	49	2,377	—	2,377

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,383百万円には、セグメント間取引消去94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,478百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△2,041百万円には、セグメント間取引消去△4,086百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産2,045百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	13,090	23,955	6,681	2,934	3,638	1,504	51,805	—	51,805
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,444	57	422	0	823	—	9,748	△9,748	—
計	21,534	24,013	7,104	2,934	4,462	1,504	61,554	△9,748	51,805
セグメント利益又は損失 (△)	4,313	1,157	1,043	207	△368	△35	6,319	△1,861	4,457
セグメント資産	28,438	21,931	6,909	3,836	5,124	1,330	67,570	△2,502	65,067
その他の項目									
減価償却費	973	888	219	201	312	92	2,686	11	2,697
のれんの償却額	6	283	—	—	57	—	347	—	347
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,081	334	150	42	222	2	1,833	—	1,833

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,861百万円には、セグメント間取引消去294百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,156百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△2,502百万円には、セグメント間取引消去△3,824百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,321百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,314.13円	1,439.48円
1株当たり当期純利益	156.64円	114.29円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	156.26円	114.16円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	27,927	30,567
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,024	1,029
(うち新株予約権)	(66)	(63)
(うち非支配株主持分)	(958)	(966)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	26,902	29,537
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	20,471,597	20,519,773

(注) 2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,204	2,344
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,204	2,344
普通株式の期中平均株式数(株)	20,455,444	20,509,115
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	49,640	23,797
(うち新株予約権)(株)	(49,640)	(23,797)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 り当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の 概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。